

**27 類 1. 飽和非環式炭化水素の単離した異性体及び異性体の混合物**

- (i) 単離した異性体で、その含有量が全量の 95%未満のもの（注）
- (ii) 異性体の混合物で、一つの異性体の含有量が全量の 95%未満のもの（注）

2901.10 / 1 参照

**27 類 2. モノオレフィン系又はポリオレフィン系の非環式炭化水素の単離した異性体及び異性体の混合物（立体異性体を除く。）**

- (i) 単離した異性体で、その含有量が全量の 90%未満のもの（注）
- (ii) 異性体の混合物で、一つの異性体の含有量が全量の 90%未満のもの（注）

2901.23 から 2901.29 / 1 参照

**27 類 3. モノオレフィン系又はポリオレフィン系の非環式炭化水素の立体異性体の混合物**

上記混合物のうち、特定の炭化水素の立体異性体の含有量が全量の 90%未満のもの（注）

2901.23 から 2901.29 / 1 参照

（注）含有量は、水分を除いた状態において、ガス状の物品については容量比により非ガス状の物品については重量比により、それぞれ計算したところによる。

**27.10 項 1. 石油製品**

～

**27.13 項** 第 27 類の石油製品（ペトロラタム、石油ワックス、石油アスファルト及び石油（第 27.12 項、第 27.13 項及び第 27.10 項））の区分基準

(i) 回転温度法（ISO 2207（ASTM D 938 と同等の方法）により測定したときの凝固点による区分

**27.10 項** (a) 摂氏 30 度未満（油）

**27.10 項** (b) 摂氏 30 度以上（下記（ii）による。）

**2712.10**

～

**2712.90**

又は

2713.20

(ii) 上記 (i) (b) に該当する物品について、摂氏 70 度における密度による区分

27.10 項

(a) 密度  $0.942\text{g}/\text{cm}^3$  以上 (下記 (iii) による。)

又は

2713.20

27.10 項

(b) 密度  $0.942\text{g}/\text{cm}^3$  未満 (下記 (iv) による。)

2712.10

~

2712.90

(iii) 上記 (ii) (a) に該当する物品について、摂氏 25 度における針入度試験 (ASTM D5) による区分

2713.20

(a) 400 未満 (アスファルト)

27.10 項

(b) 400 以上 (油)

(iv) 上記 (ii) (b) に該当する物品について、摂氏 25 度における混和ちょう度 (ISO 2137 (ASTM D 217 と同等の方法)) による区分

27.10 項

(a) 350 以上 (油)

2712.10

(b) 350 未満 (下記 (v) による。)

~

2712.90

(v) 上記 (iv) (b) に該当する物品について、摂氏 25 度におけるちょう度 (ISO 2137 (ASTM D 937 と同等の方法)) による区分

2712.10

(a) 80 以上 (ペトロラタム)

2712.20

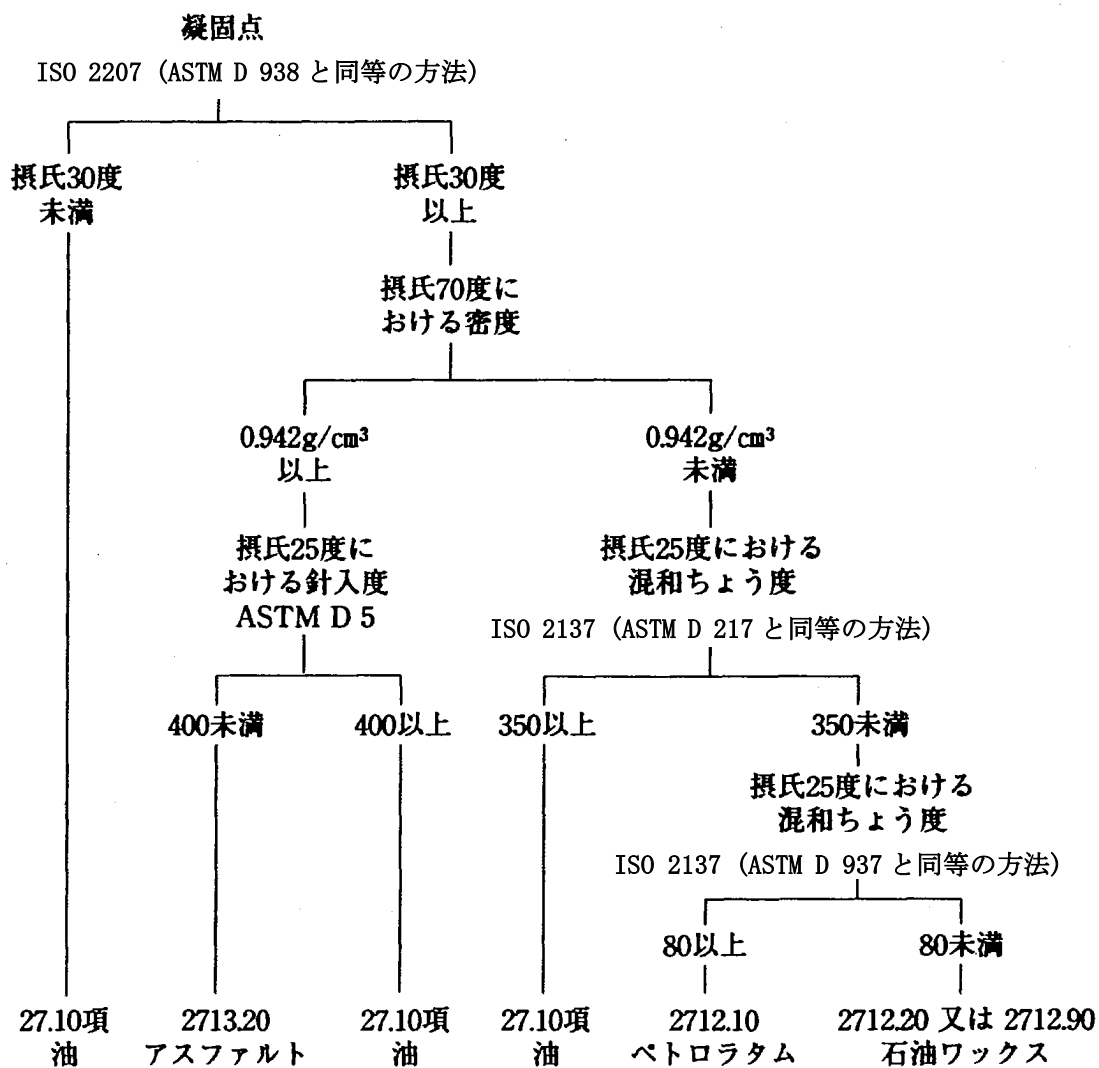
(b) 80 未満 (石油ワックス)

又は

2712.90

27.10-27.13/1の例規の図解

第27.10項、第27.12項及び第27.13項の石油製品の区分基準（第27.10項の調製品を除く。）



**2710.12 2. オクタン価 92 の自動車用ガソリン**

本品は、黄色かかった色合いの透明な液体で、ピストン式火花点火内燃機関用の石油調製品である。本品は、様々な技術的処理（すなわち、石油の直接蒸留、触媒を用いた接触改質、アルキル化、直留分画物の異性化、触媒を用いた接触分解、及び減圧軽油の水素化分解）により得られた成分からなる混合物である。

本品の芳香族炭化水素の含有量は全重量の 52% である。本品の物理化学的特性は以下のとおりである。

比重（15℃）：742.0 kg/m<sup>3</sup>（ASTM D 1298）

分留性状（ISO 3405/ASTM D 86）は以下のとおり

初留点：35℃、終点：210℃（留出容量が全容量の 5%：留出温度 54℃、留出容量が全容量の 90%：留出温度 180℃、留出容量が全容量の 96%：留出温度 210℃）

通則 1 及び 6（第 27 類号注 4）を適用

**2710.12 又は 2710.19 1. Oils graphited**

本品は石油及び歴青油に、微細な黒鉛（多くは、粒度 0.1~0.5 マイクロメートル（ミクロン））を約 0.04~0.2% 懸濁したもの

**2710.19 2. 灯油及びパラフィンの混合物**

本品は、淡黄色から明るい褐色の液状の混合物であり、灯油（50%）及びパラフィン（50%）から成る。パラフィンは、脱酸した植物油の水素化により得られた炭素数 9 から 15 の飽和炭化水素から成る。ISO 3405 の方法（ASTM D 86 の方法と同等の方法）による温度 210 度における減失量加算留出容量が全容量の 90% 未満のものであり、ジェットエンジン用の燃料として使用される。

通則 1（第 27 類注 2）及び 6（第 27 類号注 4）を適用

**2710.19 3. 燃料油 100 (重質留分を基とした液体燃料)**

本品は、粘性の高い暗褐色の燃料で、定置式蒸気ボイラーや工業用炉で燃焼させるための石油調製品である。本品は、中間留分を添加した石油精製残留物からなる。本品の芳香族炭化水素の含有量は全重量の 68% である。本品の物理化学的特性は以下のとおりである。

動粘性率 (50℃) : 354 mm<sup>2</sup>/sec (cSt) (ISO 3104/ASTM D 445)

希釈物 (1 : 100) の比色特性 : 8 超 (ASTM D 1500)

硫黄分 : 全重量の 2.23% (ISO 8754)

引火点 (開放法) : 150℃ (ASTM D 92)

固化温度 : 6℃ (ISO 3016)

けん化価 : 4 未満 (ISO 6293)

硫酸灰分 : 全重量の 1% 未満 (ISO 3987)

分留性状 (ISO 3405/ASTM D 86) は以下のとおり

初留点 : 184℃、終点 : 313℃、留出容量 : 18%、留出容量が全容量の 1% : 留出温度 210℃、  
留出容量が全容量の 4% : 留出温度 250℃、留出容量が全容量の 14% : 留出温度 300℃、留  
出容量が全容量の 18% : 留出温度 313℃~350℃

通則 1 及び 6 を適用

**2710.19 4. 低粘度の船舶用燃料**

本品は、黄色透明の油状の液体を呈す、船舶用エンジン用に供される石油調製品で、石油の直接蒸留と二次処理工程の留分から得られる。本品の芳香族炭化水素の含有量は全重量の 65% である。本品の物理化学的特性は以下のとおりである。

動粘性率 (50℃) : 4.30 mm<sup>2</sup>/sec (cSt) (ISO 3104/ASTM D 445)

希釈物 (1 : 100) の比色特性 : 0 (ASTM D 1500)

硫黄分 : 全重量の 0.03% (ISO 8754)

引火点 (開放法) : 117℃

引火点 (密封法) : 92℃

分留性状 (ISO 3405/ASTM D 86) は以下のとおり

初留点 : 206℃、終点 : 381℃、留出容量 : 97%、留出容量が全容量の 1% : 留出温度 210℃、  
留出容量が全容量の 9% : 留出温度 250℃、留出容量が全容量の 39% : 留出温度 300℃、留  
出容量が全容量の 79% : 留出温度 350℃

通則 1 及び 6 を適用

**2712.90 1. ミクロクリスタリンワックス（石油ワックス）**

本品は、ポリイソブチレンのようなドーブ剤を極少量含有するミクロクリスタリンワックスである。

検討された物品：

ポリイソブチレンの含有量が2%以下の石油ワックス

**2714.90 1. 脱水し、粉碎した天然ビチューメンを水に分散したもの**

本品は、安全性を確保し、取扱い及び運搬を容易にするために加えられた少量の乳化剤（界面活性剤）を含む。

検討された物品

Orimulsion

天然ビチューメン 約 70 %

水 約 30 %

非イオン系界面活性剤 約 0.2%

**2715.00 1. Roof-covering product**

本品は、アスファルトに石綿、鉱物性充てん料及び桐油を添加した溶液で、屋根の塗装に使用される。

検討された物品：

“Permaroof black”（登録商標名）

アスファルト 53.9%

溶 剤 26.6%

石 綿 10.6%

鉱物性充てん料 4.9%

桐 油 4.0%

**2715.00 2. 屋根、外壁及び金属の表面のコーティング剤**

本品は、アスファルトに石綿繊維及びアルミニウム顔料を添加した溶液で、屋根 外壁又は金属の表面に塗布される。

検討された物品：

“Alumanation No. 301”（登録商標名）

アスファルト	37.3%
溶 剤	41.8%
石綿繊維	16.3%
アルミニウム顔料	4.6%